

## 香水が時代を描くとき(1)シャネルNo. 5 誕生に込めた意味～1920年代～

---



香水の流行とは何でしょう？モード界が毎年違ったコレクションを発表するように、香水も世の中の情勢や思考の流れを受けて変化

し続けています。今回は**香りの世界を大きく発展させた1920年代**を追って行きましょう。

### 女性のために生まれた新しいスタイル

---



第一次世界大戦終結の時代、女性達はスタイルを大きく変えました。息苦しく窮屈だったコルセットを脱ぎ、外出がより身近なものになりました。スカートの丈が短くなることで踊りも軽やかになり、女性にとって新しい時代の幕開けとなったのです。

## ギャルソンヌに込めた願い

---

髪を胸や腰までの長さにキープしていた時代とは違い、**ショートヘア**も好まれるようになりました。バストをわざと小さく見せるランジェリーを身につけるなどの工夫をし、**身体的な女性らしさを強調しないギャルソンヌ** (garçonne) と呼ばれた新しいスタイルが世界中で流行を見せました。

ちなみにギャルソンヌとは、「男の子」という意味の「ギャルソン」(garçon) から生まれた言葉です。元々は**男女平等の願い**から生みだされたスタイルだと言えますね。

また、女性のための動きやすくエレガントな装いを誕生させた**ココ シャネル** (Coco CHANEL

本名ガブリエル シャネル Gabrielle CHASNEL ) はギャルソンヌルックスの先駆者でもありました。

## シャネルNo. 5 の誕生



### 20世紀初頭からモード界が香水を発表する動き

が見られ始めました。各メゾンのコンセプト、雰囲気にあった香りを作り出し、香水はより芸術性を高めました。ご存知の通りココ シャネルも香水界の扉を開きました。

### ココ シャネルが求めた香り

ココ

シャネルが ” シャネル発第 1 号 ”

の香りで欲しがったのは、これまで存在したクラシックで美しい花が生みだすただの「協和音」ではありませんでした。

欲しかったのは、  
**強い個性を持つ女性が纏う素  
敵なシルエットのスーツのような香水**だったのです。  
デザイナーであるシャネルは新しい服  
を創造するように、**香りにもオリジナリティーと創造性**を求めていたのです。

## シャネルNo. 5の生みの親

---

そこで調香師エルネスト ボー (Ernest  
Beaux  
) はそれまでの常識を破  
**り、新合成香料アルデヒドを多量に組み入れる**  
ことでオリジナリティーある香りを生み出しました。より華やかでエレガントで複雑な香りに仕  
上げることができたのです。

ボーは1番から5番、  
それから20番から24番までのサンプルを差し  
出し、**シャネルが選んだのは5番の香水。**  
時は1921年、今も世界中で愛されつづける名香であるシャネルNo. 5が誕生した瞬間でした。

## あらためて読むNo. 5の香り

---

言葉で表現するなら、**両腕に抱えてあふれんばかりの花束**のようなNo. 5。アルデヒドはこの華やかさを一層引き立たせます。香水の中心となる重厚かつミステリアスなイランイラン、ジャスミンにバラや鈴蘭が更なる女性らしさを語ります。

そしてゆっくりと香りは肌の上で変化していきます。ラストには洗い立ての白いシャツのような清潔なムスク、甘いバニラ、奥深くパウダリーな白檀などが包み込み、**身につけている間中特別な優美さを与えてくれます。**

## まとめ

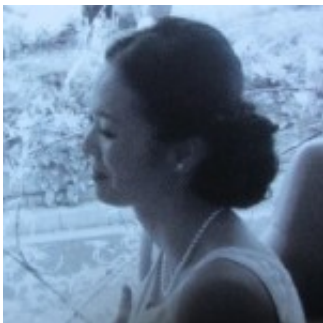
---

開放的なエレガンスで、**世界中の女性の香りスタイルに大きな影響を与えたシャネル**

。No. 5の誕生を機に香りの分類に「アルデヒドタイプ」が加わり、フローラルとアルデヒドの組み合わせが多く世に送り出されました。

今回は女性達が香水を纏い始め、香りの世界がモードによって重要な発展を遂げた1920年代をご紹介します。

執筆者 ふみ



オンラインフランス語学校

# ENSEMBLE EN FRANÇAIS

アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。

